

# たぐすい

TAKUSUI  
No. 667

5

May, 2012

発行 財兵庫県水産振興基金

兵庫の漁業人のための情報誌



鳴門の渦潮

NEWS

**“イカナゴくぎ煮コンテスト” 開催!**

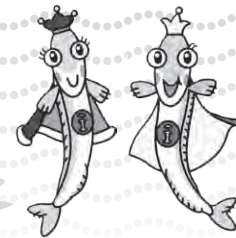
～兵庫県イカナゴ謝恩実行委員会の取組み～

**平成24年度 県功労者表彰** ～水産関係から3名が選ばれる～

**兵庫のカキが高評価!**

～「カキ日本一決定戦」において2水産が入賞～

**平成23年度 のり共販終了**



## “イカナゴくぎ煮コンテスト”開催! ～兵庫県イカナゴ謝恩実行委員会の取組み～

### 兵庫県イカナゴ謝恩実行委員会

兵庫県イカナゴ謝恩実行委員会では、今年、新たな取組みとして、小中学生を対象に「イカナゴくぎ煮コンテスト」を開催しました。学校の授業として、明石市・姫路市の小中学校でくぎ煮教室を実施した際、このコンテストを予告し、参加者を募りました。4月5日(木)には審査会を行い、応募作品の中から最優秀賞1作品と優秀賞4作品が選ばれ、受賞者には図書券が贈られました。

応募のあった作品はどれも良い出来でした。応募作品のレシピを見ると、赤ワイン、梅肉、ニンニクを入れたものから、「気持ちがいっぱい」入っているものもありました。審査にあたったのは、小中学校で講習をおこなったSEAT-CLUB講師の皆さんで、生徒の個性あふれる

くぎ煮の点数をつけるのに苦労したようです。

また委員会では、JR車両に中吊り広告を出したり、JF神戸市の協力を得て、電車の窓から見える建物に看板を掲げたり、生活改善グループ「いずみ会」でのくぎ煮教室開催など多岐にわたる活動をしました。



最優秀賞受賞のくぎ煮よく出来ていました!

この委員会は平成15年に結成以来、消費者への正確なイカナゴ情報発信と、鮮度の良いイカナゴ提供を行い、ひょうごの食文化づくりをすすめてきました。現在、くぎ煮調理が次世代に引き継いでいないなど、新たな問題に直面しています。来年以降も、関係者一同、心をつなげて「くぎ煮文化」の継承と、さらなる発展を目指して頑張っていきます。



審査員の皆さんも力が入ります



JRに中吊り広告を出しました



線路沿いに看板を設置しPR



いずみ会での講習風景

#### イカナゴ料理教室 開催一覧

3月	明石市内小中学校	姫路市内中学校	一般消費者
2日 金	明石小学校 3年	花田中学校 1年	
5日 月	谷八木小学校 6年		
6日 火	高丘東小学校 5年	山陽中学校 教師	
7日 水	高丘東小学校 5年		
8日 木	王子小学校 6年		芦屋いずみ会
9日 金	高丘西小学校 5年		
10日 土	衣川中学校 芸術部		
12日 月	錦が丘小学校 6年	城乾中学校 1年	
13日 火	二見小学校 3年	林田中学校 1年	播磨町いずみ会
14日 水	魚住中学校 特別支援	花田中学校 1年	小野市いずみ会
15日 木	二見小学校 3年	白鷺中学校 2年	高砂市いずみ会
16日 金	沢池小学校 6年	城乾中学校 1年	
19日 月	沢池小学校 6年	白鷺中学校 1年	三木市いずみ会
21日 水	錦城中学校 1年	坊勢中学校 2年	

参加者人数計 1,224人

みんな楽しそうに作っています!  
(姫路市内中学校にて)





# 平成24年度 県功労者表彰



## ～水産関係から3名が受賞～

兵庫県は5月2日（水）に「平成24年度県功労者表彰」の受賞者の発表を行い、水産関係から3名の方が選ばれました。なお、表彰式は来る5月17日（木）に神戸市中央区の県公館で行われました。受賞されました方は次のとおりです。

### 【農林水産功労】

**中田 勝** 様

（J F 津名代表理事組合長、  
兵庫県内海漁船保険組合理事、  
財兵庫県水産振興基金監事、  
社淡路水交会理事）



### 【農林水産功労】

**小西 正治** 様

（J F 富島代表理事組合長、  
兵庫県漁業信用基金協会理事、  
兵庫県瀬戸内海海区漁業調整委員会委員、  
社淡路水交会理事）



### 【女性活動功労】

**本多 春代** 様

（兵庫県漁協女性部連合会副会長、  
播磨地区漁協女性部連合会会長、  
室津漁協女性部部長）



## 海難事故“<sup>ゼロ</sup>0”を目指して… ～“命を守る運動”海上安全講習会担当者会議を開催～

## REPORT

各団体からの報告

後を絶たない海難事故を未然に防止するため、現在、県下各地で開催している“命を守る運動”海上安全講習会。この講習会は、平成22年にスタートしてから延べ1,300人以上が受講され、海難事事故例とその対策・ライフジャケット着用推進の内容に加え、実際にライフジャケットを膨らました後、メンテナンスを行ったり、着用して海に飛び込み、その性能を体験する講習等を行ったりしてきました。



この度、講習会の今後の内容について話し合う担当者会議が4月26日（木）に開催され、国土交通省神戸運輸監理部、神戸海上保安部、お

よびJF兵庫漁連ほか系統5団体の担当者が集まり、意見を交わしました。

会議では、「昨年開催した大型船シミュレーター体験など好評を得た講習会をもう一度やってはどうか?」といった意見や、講習内容についての斬新な案まで様々な意見が飛び出し、有意義な会議となりました。今後は、会議で出された検討課題や、新しい講習スタイルが可能かどうか検証していき、海難事故“<sup>ゼロ</sup>0”を目標に、講習会の充実を図っていくことが確認されました。

今後も県内の各地区・JFで開催し、また、開催希望のところへ出向いて、講習・体験を行っていきます。

講習会の開催希望などのお問い合わせは

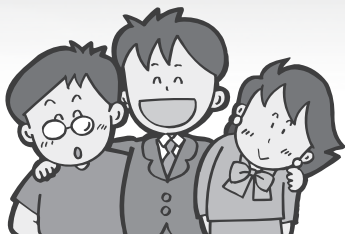
**JF兵庫漁連（指導部）** まで  
TEL 078-940-8013

### “命を守る運動” 海上安全講習会

主催 漁業協同組合・JF兵庫漁連・共水連兵庫県事務所・兵庫県内海漁船保険組合  
(公財)ひょうご豊かな海づくり協会・財兵庫県水産振興基金  
協力 神戸運輸監理部・各海区の海上保安部・関西小型船安全協会

# 系統・漁協 新人職員紹介

新たに採用された  
職員の皆さんを  
ご紹介します



## JF兵庫信漁連

淡路島支店

あお やま しゅんさく  
**青山 俊作**

笑顔をもっと、お客様とふれあい、信頼して頂くことを目標に、一生懸命頑張りますのでよろしくお願いします。



## JFぎよさい兵庫

事業部業務課

たか よせ ひろ し  
**高寄 浩至**

私は昨年からジョギングを趣味にしており、4月にハーフマラソンに出場しました。今年中にはフルマラソンに出場するという目標を立てており、その実現に向かって日々努力しております。業務に対しても同様に毎日の積み重ねを大事にし、チャレンジする気持ちを忘れず取り組んでいきたいと思っております。



## JF共水連兵庫県事務所

管理課

くわ ばら よし み  
**桑原 好美**

皆様のお役に立てるよう日々努めて参ります。何卒よろしくお願い致します。



## 兵庫県内海漁船保険組合

損害審査部

う ば が い  
**祖母谷 ももこ**

漁船保険組織の一員として、組合員・職員の方の力になれるよう精一杯頑張っていきます。まだまだ至らない点ばかりでご迷惑をお掛けすることもあるかと思いますが、宜しくお願いします。



## JF神戸市

事業部 加工・冷蔵課

たけ い こう た  
**竹井 孝太**

晴れて4月から当組合の職員の一員となり、先輩方の教えのもと、日々職務に励んでいます。今後、更に神戸の漁業を盛り上げていけるよう助力していきたいと思っております。

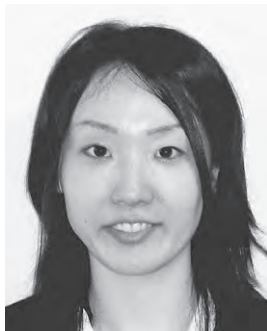


## JF神戸市

管理部総務課

はや さき かず よ  
**早崎 一世**

早く一人前になれるよう、日々勉強していきたいと思っております。

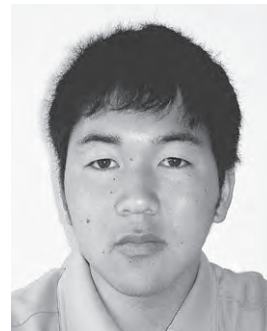


## JF神戸市

事業部 販売購買課

ふ せ たつ や  
**布施 達也**

まだいろいろと分からないことだらけですが、一日でも早く仕事を覚え、組合の新しい力になれるように精一杯頑張りたいと思っております。



## JF林崎

業務部 販売課

く る し ま つぐ み つ  
**久留嶋 継光**

一日でも早く組合員の顔を覚え、ミスの無い仕事を目指して頑張りたいと思います。



## JF林崎

業務部 販売課

す み お か み つ や  
**澄岡 三矢**

まだわからない事だらけで、戸惑っています。早く職員として仕事に従事出来る様、頑張りたいです。



## JF室津

共済担当

や ま し た と し き  
**山下 世喜**

3月より室津漁業協同組合で勤務しております。組合の業務は慣れていない事ばかりで、日々奮闘しておりますが、1日でも早く仕事を覚えて皆様のお役に立てるよう、頑張りたいと思います。ご指導の程よろしくお願ひします。



## JF育波浦

や ま ぐ ち か つ や  
**山口 勝也**

組合員のために頑張ります。



# 今年もやります!

## ～明石タコつぼオーナー募集～

### 兵庫県明石市 江井ヶ島漁業協同組合の



JF兵庫漁連シートクラブでは、昨年好評だったJF江井ヶ島「明石タコつぼオーナー」を今年も募集いたします。

オーナーにお申し込みいただくと、もれなく自分のタコつぼ番号が記載されている「タコつぼオーナー証」を発行します。その後、7月下旬から8月上旬にかけて4回引き上げを実施し、「マイ」タコつぼに入った旬の明石タコをオーナーに送付いたします。4回中1度もタコが入らなかった場合でも、最終引き上げ日に1杯タコを送付する保証付き。タコの入っている確率は約10～20%ですが、幸運な人は何回も入っています!なお、募集は先着300名まで、参

## REPORT

各団体からの報告

### JF兵庫漁連 広報部

加費は5,775円/壺(税込)となっています。

真夏の「運だめし」、一度お試しあれ。(申込み期限:平成24年6月29日(金)17時まで)

※詳しくはJF兵庫漁連ホームページをご覧ください。

#### 参加申込み・お問合せ先

〒673-0883

明石市中崎1-2-3

兵庫県漁業協同組合連合会

SEAT-CLUB(シートクラブ)

TEL:078-917-4137

ホームページ: <http://www.seat-sakana.net>

(シートクラブで検索)



## 兵庫のカキが高評価!

～「かき日本一決定戦」において2水産が入賞～



### (財) 兵庫県水産振興基金

本県の西播地区で盛んに行われているカキ養殖。

豊かな自然と、千種川・揖保川と2つの河川を抱えるこの地域で養殖されるカキは、味の良さと身の大きさに定評があります。この度、消費者を中心にカキのPRに取り組む日本オイスター協会(事務局:東京)が開いた「第1回かき日本一決定戦」で、JF室津の(株)住栄丸 代表生産者 津田 泰史さんが3位、JF赤穂市の鎌島水産(有)代表取締役 鎌島 宏文さんが4位に入賞し、兵庫のカキの味の良さ、品質の高さが証明された形となりました。

「かき日本一決定戦」には、生産者がエントリーするのですが、ホテル・有名オイスターバーなど3社以上の推薦を受けて、かつ、衛生面等でもクリアしたものだけが審査対象となるため、今回は多くのエントリーの中から11社・団体が残りました。最終選考では、産地・生産者名を伏せた状態で出された殻付き生カキを試食する方法で、料理記者 岸 朝子さんをはじめ同協会認定の審査員55名が、味、食感、形など8項目について採点し順位を決定しました。

3位となった津田さんは、「一度、品評会に出してみたいと思っていた。自分たちの育てるカキは良いものである自信はあったが、確信がなかったので良い機会となっ

た。」と話し、「兵庫のカキ」は業者間では評価されているが、今後は消費者にもっと知ってもらうための流通に力を入れたい」と抱負を語られました。

4位の鎌島さんは、一度水揚げしたカキから大粒のものを厳選し、再び海で育てる「生かし込み」を3回以上行った最高級品「さこし忠臣蔵」を出品し受賞されました。水揚げ量の僅か数%という「さこし忠臣蔵」は上位のカキとも評価点数は僅差で、高い評価を受けたことに「手間暇かけたことが認められ、素直にうれしい」と話されました。

津田さん、鎌島さんは共に「兵庫のカキの評価は、近年、確実に上がっている」と話され、今後、兵庫のカキが、さらに広く世に知られる確かな手ごたえをつかまれた様子でした。

今漁期のカキ養殖は、当初の高めの海水温が影響したのか、成長の遅れが心配されていましたが、1月上旬の水温降下と共に成長も良くなったそうです。漁場にも恵まれた西播地区のカキ養殖は、その品質の良さで、これからますます全国に知られていくことを期待したいです。



「このカキを食べたら、カキが好きになったといわれるのが嬉しい」と語る津田 泰史さん



鎌島さんと赤穂市 豆田 正明市長を囲んでの記念撮影(鎌島さん提供)  
(左から 日本オイスター協会 佐藤氏、豆田市長、鎌島 宏文さん、鎌島 典子さん)

# 平成23年度のり共販終了

JF兵庫漁連 のり海藻事業本部



最後共販まで多くの商社が参加した今漁期

今漁期最終の共販となる第13回乾のり入札会が、5月8日（火）JF兵庫漁連のり流通センターにおいて行われました。参加の49商社は下物相場が強含みで推移するなか、活発な買い気で終始しました。

今漁期の結果は別表のとおりで、西播漁場が4月まで生産を続けるなど、近年にない枚数が生産されたことと、平均単価の上昇から、過去5年間で最高の共販金額となりました。

最終共販のこの日、JF兵庫漁連 山口 徹夫専務は挨拶で、「全国的にノリ生産状況が良くないなか、兵庫は生産枚数・金額ともに前年を大きく上回った。漁期当初から栄養塩があり、年明け後も雨が多かったことから、大きな色落ちもなく順調な生産ができ、平均単価も約1.5円高い結果となった。今後も良いノリを作るために、従来の海底耕耘等に加え、“豊かな海”実現に向けた要望



挨拶に立つJF兵庫漁連 山口 徹夫専務



を国等に働きかけていく。また、商社の皆様に望まれるノリ作りを進めていくので、アドバイスを受けたいと思う」と述べました。

続いて、兵庫県海苔入札指定商組合 松谷 晃理事長（松谷海苔株式会社代表取締役社長）から「昨年12月の第1回共販時に“今年は兵庫に期待している”と申し上げて、昨年を大きく上回る結果となった。これはノリ生産者とJF兵庫漁連の日々の努力の賜物である。商社はこれから一層厳しい状況となるが、生産者・県漁連を見習って頑張っていきたい」との挨拶がありました。

今漁期を振り返ると、育苗時期から高水温の状態が続いたため張り込みが遅れましたが、夏から秋にかけての大雨や台風の影響で、栄養塩は平年を上回る状況にありました。その後も、定期的な降雨のおかげで、栄養塩のレベルが一定に保たれる結果になりました。

今後、JF兵庫漁連や各JFでは、従来の海底耕耘や「かいぼり」の展開を進めるとともに、下水道管理運轉の要請や、国等に「豊かな海」の再生を目指した運動を行い、ノリ生産はもちろん、漁船漁業の発展にも繋げる活動を展開していきます。



兵庫県海苔入札指定商組合 松谷理事長から挨拶がありました

## 平成23年度 兵庫県乾のり共販結果

	共販年度	共販枚数	共販金額	平均単価
本 県	平成23年	15億3,879万枚	144億8,796万円	9円39銭
	平成22年	11億3,483万枚	90億9,429万円	7円99銭
	平成21年	14億2,251万枚	115億5,150万円	8円10銭
全 国	平成23年	77億6,852万枚	772億1,329万円	9円94銭
	平成22年	85億5,101万枚	785億6,692万円	9円19銭
	平成21年	80億2,391万枚	734億0,438万円	9円15銭

※全国の結果は平成24年5月8日現在のもので、5月9日の宮城は含まれていません。

# 兵庫県からのお知らせ

## 兵庫県産の農畜水産物は安全です

平成 24 年 4 月 20 日

兵庫県では、昨年 4 月以降、県産の主な農畜水産物について県独自で放射性物質の検査を行ってきたところですが、いずれの農畜水産物でも放射性物質は検出されず安全が確認されています。

今後も様々な検査を行い、安心・安全な農畜水産物の P R に努めていきます。

なお、検査結果は、兵庫県のホームページにて公開されますのでご覧ください。

([http://web.pref.hyogo.lg.jp/af04/af04\\_000000135.html](http://web.pref.hyogo.lg.jp/af04/af04_000000135.html))

平成 24 年度の検査結果（県立健康生活科学研究所）

	品 目	放射性セシウム
4 月	メイタガレイ <sup>※1</sup> （大阪湾） ほうれんそう <sup>※2</sup> （神戸市産）	検出せず 検出せず

※「検出せず」：検出できる最小値である検出下限値未満であること。

※検出下限値：※1 は 5.0 ベクレル/kg、※2 は 1.0 ベクレル/kg

平成 23 年度の検査結果（県立健康生活科学研究所）いずれの品目でも放射性物質は検出せず

	検出下限値 (単位：ベクレル/kg)	検査品目名 * 検体数を併記	検体数計
農産物	1.0	はくさい 2、キャベツ 9、レタス 5、にんじん 5、 だいこん 1、たまねぎ 1、ピーマン 1、白ねぎ 1、 米 20、酒米 4、ぶどう 1	50
畜産物	5.0	牛肉 2、豚肉 1、鶏卵 1、はちみつ 1、鶏肉 1 原乳 1(ただし、原乳のみ検出下限値 0.5 ベクレル/l)	7
水産物	5.0	イワシシラス 1、マダコ 1、マガキ 1、養殖トラ フグ 1、養殖ノリ 1、アンコウ 1、アカガレイ 1、 イカナゴ 1、養殖ワカメ 1	9

### 【水産物の今年度の予定】

4 月	5 月	6 月	7 月
メイタガレイ	マダイ	イワシシラス	マダコ

※現在の予定であり、変更の可能性があります。また、8 月以降も順次検査を行う予定です。

問合先：兵庫県農政環境部農政企画局消費流通課

電話：078 - 362 - 3443

FAX：078 - 362 - 4276

兵庫県農政環境部農林水産局水産課

電話：078 - 362 - 9230

FAX：078 - 362 - 3920



## 漁師の知恵を後世に… ～淡路市 郡家に漁具資料館～

漁具は、昔から漁業者が経験と知恵を用い、改良が重ねられてきました。その漁具を様々な形で展示し、実際の漁業の姿を知ってもらおうと、4月24日(火)淡路市郡家に漁具資料館「丸幸(まるこう)」がオープンしました。

資料館には、各漁具の昔から現在の形に至るまでの変遷や、刺網・釣りの道具では対象魚種ごとの比較が出来るようになっており、約150点の漁具が展示されています。また、底曳網の5分の1の模型や、船曳網の20分の1の模型(どちらも漁業者の手作り)が展示してあるほか、操舵室を再現したコーナーでは実際に装置等を触ることが出来ます。また、いろいろなロープの結び方を体験(要予約)したり、底曳網やノリ養殖を紹介するDVDの視聴など、見て、触れて、楽しみながら漁業について学ぶことが出来る内容となっています。



“樽”(浮子)の今昔



今は空き缶で代用されることもある  
“貝ぐり”(イダコの漁具)

しまったり捨てたりするのでなく、見てもらうことで漁業や海のことについて知って貰えたら」と考え、幸作さんが使っていたノリ加工場等(約150平方メートル)を改築し、屋号の「丸幸」を冠した資料館の開設を決意。郡家地区の漁業者らも、古い漁具や、今使っている漁具を提供したり、展示品の製作に協力したほか、開館後はボランティアとして9名が、館内展示の解説や、ロープの結び方の指導などを行っています。

この資料館の館長は、元小学校教諭 石上 初志さん(60)です。5年前に父親の幸作さんを亡くされました。漁業を営んでおられた幸作さんの漁具を整理している時、「漁師が工夫して作った道具を、



大きな掃除機みたいな機械、これ分かりますか?  
(答は“ノリ刈り取り機”)

資料館開設にあたり、石上さんらは、県水産技術センターをはじめ、多くの資料展示を見て回り、いろいろと検討を重ねた結果、「漁師の経験と知恵の結晶である“漁具”に焦点を当て、普段食べている魚がどのようにして獲られたのかを知ってもらおうと、海や魚食にもっと関心を持ってもらえたら」と、実際に見て、触れられる展示方法に決められたとのこと。今後は、小学生等の見学受入れなども検討していきたいと語られました。



魚種ごとの「刺し網」いろいろ

この資料館は、午前9時～午後5時まで開館し、木曜休館。入館料は一般200円、小中学生100円。お問い合わせは同館 656-1511 淡路市郡家1168-2 (電話0799・70・1670)



「魚を獲る技術を知ってもらい、魚食文化への興味に繋げたい」と語る石上館長



## 食のブランド「淡路島」スプリングメッセ2012が開催!

～約2万6千人が淡路島のとおきを堪能～ 洲本農林水産振興事務所

去る3月24日(土)と25日(日)の2日間にわたり、淡路夢舞台で“淡路島のとおき「見つける、味わう、手に入れる」食のイベント”が開催されました。

淡路の絶品食材を購入できる淡路島農林水産ブースでは、水産物加工品の販売出店があり、イカナゴのくぎ煮やノリ・ワカメなどが人気でした。また、淡路島の豊かな食材を味わうグルメブースでは、生シラス丼の販売コーナーが設けられ完売となる盛況ぶりでした。会場内ではスイーツブース、島内の旅館・ホテルによる新作メニュー発表会ブースなども設けられ、“淡路島のとおき”を多くの方が楽しめました。

今回のイベントは、淡路島の豊かな食材をPRするとともに、新たな食文化を発信する格好の機会となりました。



会場はあわじの食材を求める人で賑わいました。



生シラス丼も大人気!



「春の須磨を楽しんでもらおう」と4月15日(日)、JF神戸市や神戸市須磨区の若宮商店街など海岸エリアの6社・団体が5会場に分かれ、獲れたて鮮魚などを直売するイベントが開催されました。当日は5会場それぞれが趣向を凝らし祭りを盛り上げ、訪れた家族連れらは桜花の舞うなか、美味・逸品に接し、楽しく過ごしていました。

須磨漁港では、東須磨漁業振興会が主催し漁業者有志でつくる「漁人神戸」が中心になり「ギョギョギョ・カーニバル漁港市」が開催され、地域住民ら約5千人が訪れ、春の海と魚に親しんでいました。会場には、神戸中央卸売市場や漁協、清盛茶屋やソバ飯・揚天屋など10数店のテントが建ち並び、終日、来場者で賑わいました。特に「漁人神戸」のメンバーが係留漁船から直接水揚げするピチピチのカレイ

## 須磨 海岸エリアで春祭り

～漁港市“獲れたて鮮魚を漁師が浜値で直売!”～

(財)兵庫県水産振興基金



鮮度の良さがウリです!



やヒラメ、メバルなどは「刺身、煮付にどないや～」の声に誘われ、大好評。また、ここで買った魚はシーパル須磨などの特設バーベキュー会場で食べることもでき、会場間の移動はシャトル漁船で…という遊び心も人気のようでした。

主催者らは、「今回の取り組みは魚価低迷に苦しむ漁業者が、魚の美味しさをじかに消費者に発信できる良い機会となった。皆さんの協力を得て今後も続けたい」と話されて

いました。なお、「漁人神戸」は、約2年前、東須磨で底曳き網漁業を営む若手漁業者7人が立ち上げた会で、市内で行われるイベントなどで魚の直売などを通じて魚の美味しさをPRしているとのこと。この日も揃いのジャンパー姿で会場を盛り上げていました。

タッチプールは子供たちに人気があります!

直売コーナーにも多くの人が訪れました



# 第32回

## 全国豊かな海づくり大会

ちゅ  
～美ら海おきなわ大会～

締切

平成 24年

6月 29日 (金)

〈必着〉

海と生活・水産業の写真を  
募集しています。

# 写真コンクール



大会キャラクター  
「アバサンゴ」

「全国豊かな海づくり大会」は、わが国水産業の振興と発展を図るとともに、水産資源の維持培養と海や湖沼・河川の環境保全の大切さを広く国民に訴えることを目的として、昭和56年に第1回大会が開催されて以来、毎年、各地を巡りながら開催されています。

第32回大会が平成24年11月18日（日）に沖縄県糸満市において『まもろうよ きせきのほしの あおいうみ』を大会テーマに開催されます。大会の趣旨を広く皆様にご理解いただくために、写真コンクールを行います。多数の方々のご応募をお待ちしております。

<b>題材</b>	・水産業並びに海とその生活に関するもの ・漁業、漁港、市場、漁村風景、海の生物や環境等に関するもの ・森・川・海につながる里の風景や生物・環境・文化に関するもの
<b>審査員</b>	谷岡靖広氏(写真家)、豊かな海づくり大会推進委員会中央審査委員会関係者、他
<b>部門及び応募資格</b>	・中学生の部：中学校生徒及び特別支援学校中学部の生徒 ・高校生の部：高等学校生徒及び特別支援学校高等部の生徒 ・一般の部：特に制限なし
<b>サイズ等</b>	・L判～ワイド四つ切(一般の部：2L判以上) ・カラー及び白黒プリント ・デジタルカメラも可(ただし、上記サイズに写真店等で出力したもので、合成処理等のデジタル加工をしていないものに限る。)
<b>応募方法</b>	画題、郵便番号、住所、氏名、年齢、職業または在学学校名・学年、連絡先、電話番号、撮影日・場所、撮影データを記入した応募票(自作のもの可)を作品の裏面にテープで貼り(ノリ付け不可)、下記あてに送付してください。スライドは直接ワクにも画題、氏名、電話番号を記入すること。また、沖縄県外に住居があり、沖縄県内に学校・職場がある人は、知事賞を選出する都合がありますので、備考に沖縄県内に在学、在勤と明記してください。
<b>送付先</b>	〒101-8503 東京都千代田区内神田1-1-12 コープビル 全国漁業協同組合連合会(全漁連) 漁政部 第32回全国豊かな海づくり大会写真コンクール係 TEL.03-3294-9627 <a href="http://www.zengyoren.or.jp/">http://www.zengyoren.or.jp/</a> に応募要領が掲載してありますのでご確認ください。

<b>発表</b>	入賞・入選作品は第32回全国豊かな海づくり大会において発表し、作品を展示します。また、入賞・入選者へは、文書にて一般の部は直接本人に、中学生の部・高校生の部は在学の学校を通じて連絡する。
<b>賞状及び副賞</b>	<p>〈一般の部〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>金賞 全国豊かな海づくり大会会長賞及び賞金5万円……………1名</li> <li>銀賞 農林水産大臣賞及び賞金3万円……………1名</li> <li>銀賞 環境大臣賞及び賞金3万円……………1名</li> <li>銅賞 水産庁長官賞及び賞金2万円……………1名</li> <li>特別賞 沖縄県知事賞及び副賞……………1名</li> <li>入選 豊かな海づくり大会推進委員会会長賞と賞金1万円 ……10名(中学生の部・高校生の部)</li> <li>金賞 大会会長賞、楯及び副賞(図書カード3万円) 中・高各1名</li> <li>銀賞 農林水産大臣賞、楯及び副賞(図書カード2万円) 中・高各1名</li> <li>銀賞 環境大臣賞、楯及び副賞(図書カード2万円) 中・高各1名</li> <li>銅賞 水産庁長官賞、楯及び副賞(図書カード1万円) 中・高各1名</li> <li>特別賞 沖縄県知事賞及び楯 中・高各1名</li> <li>入選 豊かな海づくり大会推進委員会会長賞及び副賞(図書カード5千円) 中・高各10名</li> </ul> <p>※沖縄県知事賞の対象者は主催県内に住所を有する者とする。</p>
<b>応募上の注意</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品は未発表及び発表予定のないものに限る。</li> <li>・組み写真は4枚以内とし、テープでつなぐ。</li> <li>・入賞作品は指定された期日までにネガ、スライド又はデジタルカメラのメモリーを提出すること。</li> <li>・応募作品の返却は、原則として実施しない。</li> <li>・入賞、入選作品の著作権は「豊かな海づくり大会推進委員会」に帰属する。</li> <li>・応募規程に違反した場合または期日までにネガ等未着の場合は入賞・入選を取り消すことがある。</li> </ul>

### 第32回 全国豊かな海づくり大会写真コンクール応募票

画題			ふりがな		年齢	
ふりがな			職業		学年組	
名前			学校名		所属クラブ	
住所			所属クラブ		クラブ責任者	
〒			学校・職場住所・電話	〒		
電話			カメラ	フィルム名		
FAX	自宅		レンズ	絞り	シャッター	/ 秒
			撮影場所	撮影	年	月 日

## JAえひめ中央と 産地間物流の提携をスタート

JA兵庫南は、JAえひめ中央と産地間物流の提携を開始しました。

JAえひめ中央は、果樹の産地であり、市場出荷や加工品開発を積極的に行っています。JA兵庫南では、栽培の少ない果樹を、JAえひめ中央より直接仕入れることで、店舗での品揃えの充実を図るとともに、お互いの農業をPRしつつ、地産地消を広めることを目的としています。

2月23日（木）には、JA兵庫南の農産物直売所に、JAえひめ中央より、みかん「はるみ」200ケース（1ケース5キロ）が届き、早速、同JAの農産物直売所「ふぁ～みんSHOP」の各店舗で販売を開始しました。「ふぁ～みん寺家町特産館」では、店頭での試食販売が行われ、売れ行きは好調でした。

JA兵庫南特産課 唐木 利広課長は「JA間交流を充実させて、今後も価値のある商品を消費者に提供したい」と意気込みを語っています。



試食販売を行う同JA「ふぁ～みん寺家町特産館」

## 地域で見守りあい 支えあう体制づくりを

3月1日（木）、生活協同組合コープこうべ協同購入センター但馬（養父市）で、「高齢者見守りネットワーク事業」の協定締結式が行われました。豊岡市がすすめるこの事業は、高齢者が住みなれた地域で安心して生きいきと暮らせる地域づくりを推進するため、2011年10月にスタート。「新聞や郵便が溜まっている」「電灯がつきっぱなしになっている」など察知する「気づきの目」を増やすことによって、地域全体で見守り、高齢者が抱える問題などを早期発見・対応していくものです。組合員の言動などに異変を見つけた場合、協同購入センターから地域包括支援センターに連絡。連絡を受けた地域包括支援センターの職員が組合員宅を訪問し、状況を確認するようになっています。

コープこうべの宅配事業は、週に1回、同じ担当者が同じ組合員宅を訪問することから、定期的な見守り機能の側面を持っています。今後、豊岡市地域包括支援センターと連携し、高齢者見守りへの支援体制づくりをすすめていきます。



豊岡市健康福祉部・高年福祉課白石嘉一課長（左）とコープこうべ第6地区本部尼子忠敬本部長が協定書に調印しました。

# 旬

## 亀石と鼈負 (ひき) 遊方子

◆亀の特徴は何といっても、その甲羅にある。頭も手も足も尾も甲羅に入って仕舞う所から「蔵六」の呼び方もあり、敵に襲われた亀は六支を隠し、凝っとして身を守る。だから、人も修行の際には六根を清浄にする事を守れと仏教の教えにはいる。些かこじつけかとも思うが、亀の用心深さは見習うべき所がある。神仙界のお使いと言われ、四神獣の「玄武」として高松塚古墳の北壁に描かれていた。古生代の二疊紀(2億5,000万年前)に爬虫類の先祖として登場し、恐竜時代から殆ど姿形を変えずに、亀は謎めいた不思議さに包まれている。

◆亀に似た形の石が各地にある。奈良県橘寺の近くの「亀石」がよく知られているが、長辺4.5メートル、短辺2.7メートル、高さ2メートルもある巨石だ。その用途目的も彫られた年代も一切わかっていない。平安時代の文書に既に記されているから、昔から鎮座していたらしい。周辺には「猿石」や「酒船石」など不思議な石造物も多く、一層の人気を呼んでいる。寺院の境界表示だと見る人もいるが、標識にこれほど大きな石が必要だろうか…。石川県安宅の関の安宅住吉神社にある「神亀石」は、背中を左・右・左と三度撫でて神前に祈ると、延命長寿と幸福を招き寄せると信じられている。謎多い亀が持つ奇妙奇天烈な力だろう。

◆明石の柿本神社に、人麻呂を賛えた「亀の碑」がある。寛文4年に藩主松平信之の建立という大きな石碑で、大亀の背中に乗

っている。漢文で書いた1,712文字を一息に読み下すと此の亀が動くという。石碑を乗せた亀を亀趺(きふ)とか鼈負(ひき)というらしい。大漢和辞典で鼈負を索くと「鼈または雄の鼈・大きな亀」とある。神戸湊川神社の楠正成公の墓石も、亀の背に乗っている。何故、重い石碑を鼈負に乗せるのかは、朱子学に由来するというが未確認だ。ヒキという言葉は、沼地などに生息するヒキガエルの名に残されている。

◆今、神社仏閣や公園の池で目にするのは、耳の所が赤いミシシippアカミミガメが多い。北アメリカ原産でペット用に輸出されて世界中に帰化している。日本でもミドリガメの名で大量に輸入・販売されたため、遺棄や逃亡によって全国の河川に定着、帰化を果たしてしまった、要注意外来生物である。先日、明石の海岸で小さなクサガメを捕まえた。孫に見せてやろうと鹽に入れて一晩を過ごしたが、暗がりでも必死に逃れようとガサガサ動く姿がいじらしく、元の海辺に放す事にした。縮緬じゃこと竹輪一片を食べ、海水混じりの川へと消えて行った。生きた神仙界のお使いが、こんなに身近で息づいている。



水芭蕉

## 大輪田塾だより

### ～「水協法から学ぶ協同組合」～

大輪田塾4月講座は、24日(火)に「水協法から学ぶ協同組合」と題し行われました。

水協法の条文の内容を理解すると共に、その背景にある協同組合の理念や本質に迫ろうという内容の講義で、県水産課 組合指導係 大石主査を講師に招き開催しました。

講義では協同組合の成り立ちからその役割、漁協の変遷等を聴いた後、水協法について詳しく学びました。塾生は、改めて協同組合の一員であることを認識し、最後にはクイズ形式の実務質問例もあり、法律から定款まで広く理解を深められたようです。

なお、講義終了後には、出席した6期生が修了論文作成のための打ち合わせを、県の担当指導員と行いました。

いよいよ6期生は大輪田塾修了のための仕上げにかかります。



大石主査の講義



講義の風景

## 第34回 全国海の子絵画展

# 小学校の部で 県下2作品が入賞!

JF兵庫漁連・JF兵庫女性連

昨年11月に決定した「ひょうご海の子絵画」受賞作品(拓水No663号:H24.1月号参照)のうち、特に優秀であった6名の作品がJF全漁連主催「第34回全国海の子絵画展」に出品され、審査の結果、神戸市立稗田小学校2年 本田 隆真さんが「教育美術振興会理事長賞」を、明石市立江井島小学校5年 岡本 泰葉さんが「農林中央金庫理事長賞」を見事に受賞しました。

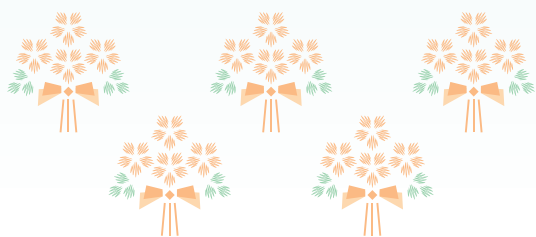
今回の絵画展は、全国2万5,502点の応募の中から、各都道府県で選ばれた115点が全国展に出展され審査が行われました。表彰式は東京・コープビルで3月26日(月)に開催され、特別賞入賞者28人の一人ひとりに賞状が手渡されたほか、全国展出展者全員にJF全漁連会長賞と併せて、2012国際協同組合年全国実行委員会記念賞が贈られました。



教育美術振興会理事長賞  
神戸市立稗田小学校2年 本田 隆真さんの作品



農林中央金庫理事長賞  
明石市立江井島小学校5年 岡本 泰葉さんの作品



### 表紙の言葉



#### 鳴門の渦潮

「一汐に 月引き落とし 鳴門かな」～芭蕉～

豪快な渦潮で知られる鳴門海峡。

最大の潮位差が約1.5mで、最大流速は約20km/hとなるこの海峡で出来る渦潮は、最大で直径約20mといわれ、特に“春の大潮”と呼ばれるこの時期は、多くの観光客で賑わいます。

メッシーナ海峡(イタリア)、セイモア海峡(アメリカ)と並ぶ、世界三大潮流の1つといわれるこの海峡の渦は、観光名所としてのみならず、タイ・ワカメ・ハモなど、多くの水産物を育み、豊かな自然をもたらす潮流です。